

全国

“支え合いマップ”

&

“ご近所福祉”

研究集会

**支え合いマップ・ご近所福祉の
ネットワークがここから始まります!!**

参加者全員に『ご近所福祉を核にした小地域福祉推進の秘訣（仮題）』、
『マップづくりの研修会開催マニュアル』を謹呈！

2008年3月に厚生労働省から示された「これからの地域福祉のあり方に関する研究会」報告書では、小地域における“新しい支え合い”を核にして、これからの社会づくりを推進する方向性が示されました。

こうした流れを受け、このたび全国コミュニティライフサポートセンターでは、住民流福祉総合研究所の木原孝久所長の協力を得て、〔家族〕→〔向こう三軒両隣〕→〔常会（自治会・町内会）（50世帯程度の規模を目安に）〕→〔小学校区〕→〔中学校区（旧町村）〕→〔市町村〕と市町村を6層に分け、相互の階層における連携と課題解決のプロセスの解明について、研究を進めて参りました。

この研究集会では、全国各地で取り組まれている“支え合いマップ”の実践をとおして、“ご近所福祉”のあり方を探るとともに、ご近所から発信されるニーズがご近所だけでは解決できない場合の課題解決の方策など、これからの小地域福祉のあり方を徹底討論します!!

開催日 2009年**1月31日**（土）～**2月1日**（日）

会場 **アイプラザ岡崎 講堂**（愛知県岡崎市）

主催

全国コミュニティライフサポートセンター（CLC）

協力 住民流福祉総合研究所

◆プログラム◆

■1日目(1月31日)

13:00~13:10	開 会
13:10~14:10	基調講演 「今なぜ“ご近所”なのか？」 木原 孝久（住民流福祉総合研究所） 厚生労働省「これからの地域福祉のあり方に関する研究会」報告書で示された“新しい 支え合い”社会づくりの方向とは？
14:10~14:20	休 憩

パート<1>支え合いマップづくりをご近所福祉に活かす手立て

14:20~14:50	実践レポート1 コンピューターを駆使した支え合いマップづくりで 防災からご近所福祉まで 片桐 美登（長野県駒ヶ根市社会福祉協議会） 支え合いマップ作りを通してご近所福祉推進の良策を模索していた結果、思い切って常 会（平均 50 世帯の小町内会）単位に社会福祉協議会を立ち上げ、各常会の世話焼き的 な個人やグループで仕切ってもらう方式を始動。また防災マップづくりをコンピューター を駆使して終了、今後これをご近所づくりに生かしていく。ここまでの経過と今後の 展望は？
14:50~15:20	実践レポート2 小規模多機能ホームがマップ片手にご近所づくりを支援する理由 久本 澄子（岡山県瀬戸内市・小規模多機能ホーム「かおり」） 瀬戸内市の小規模多機能ホーム「かおり」は、域内の要援護者をご近所で支援してもら うよう、支え合いマップを活用しながら、住民に働きかけをすすめている。施設が地域 との垣根を取り払って、地域福祉推進の核になった時、生まれてくるものは？
15:20~15:50	実践レポート3 ケアマネジャーは支え合いマップ作りでサービス脅迫症が治った！ 寺本 紀子（石川県津幡町地域包括支援センター） 同町ではケアマネジャーがケアプラン作り際に支え合いマップを活用している。こ れまでは利用者に対してなにかサービスを入れなくてはと強迫観念に追われていたが、 支え合いマップをつくってみたら利用者がご近所の人たちに支えられていることを発 見、無理矢理サービスを入れなくていいのだと納得した。その実践事例を披露。
15:50~16:20	実践レポート4 民生委員が支え合いマップ作りを始めて三年ー活動はこう変わった 高野 大秋（沖縄県那覇市社会福祉協議会） 那覇市では民生委員が各々自分の担当地区の支え合いマップづくりを進めているが、今 は数十人が作成作業を追い、実際の活動に生かしている。これで要援護者とその支援者 が特定され、活動の効率が飛躍的に上がった。具体的に彼らの活動はどう変わったの か？
16:20~16:30	休 憩
16:30~18:00	大物世話焼きさん・特別井戸端会議 “ご近所福祉は私らに任せて！” （登壇者は現在、調整中）

希望者のみ

18:20~20:00	特別講座「マップづくりセミナーの開き方」&相談コーナー 先着 50人
-------------	--

■2日目(2月1日)

パート<2>「ご近所福祉」をどうすすめるか？

9:30~10:00	<p>実践レポート1 有償活動もサロンも在宅サービスも—すべてを“ご近所支援”に結集 関 佳代子（長野県須坂市社会福祉協議会）</p> <p>同市では住民有志で助け合い推進会議を創設、福祉活動計画「助け合い起こし」を取りまとめた上で、これを役割分担して実行している。照準を「ご近所福祉」に絞り込み、有償サービスやふれあいサロン、助けられ上手推進、在宅サービスなどの各担当部署が連携して「ご近所福祉」のサポートを実施している。その成果は？</p>
10:00~10:30	<p>実践レポート2 オール世話焼きさんによる“ご近所福祉”はこうして始まった 前田 隆一（宮崎県小林市社会福祉協議会須木支所）</p> <p>わずか 800 世帯の社協支所で 10 箇所の町内会の福祉を世話焼きさんたちですべてすすめている。そこを社協スタッフが随時巡回して指導、また世話焼きの全体会で情報交換、解決できない課題を専門機関会議で協議という仕組みを始動させて一年。その成果と課題は？</p>
10:30~11:00	<p>実践レポート3 小地域福祉の中核圏域「町内福祉」を活性化する方法をみつけた！ 吉村 了子（愛知県安城市社会福祉協議会）</p> <p>安城市では福祉計画見直しに際し、町内福祉委員会の活動計画作りの成果を反映させることとした。全町内会の計画作り作業の中で、硬直化した町内福祉委員会の活性化策が協議された。カギは各町内会傘下のご近所福祉をどうやって支援するか。そこで出てきた妙案とは？</p>
11:00~11:10	<p>休憩</p>
11:10~11:40	<p>実践レポート4 ふれあいサロンを主軸に“ご近所福祉”をすすめたとき 米山 喜明（長野県中川村社会福祉協議会）</p> <p>中川村では、ふれあいサロンを推進者にしたご近所福祉をすすめている。各ご近所で中核を担うのはサロンの二次会のメンバー。サロンを生かしたご近所福祉はどのようにすすめればいいのか、そしてどのような利点があるのか？</p>
11:40~12:10	<p>実践レポート5 「自宅開放型・ご近所ミニデイ」をポストの数だけ 鈴木 恵子（すずの会）</p> <p>川崎市で活躍する介護ボランティアグループ。地区段階を活動の基本圏域としながら、メンバーや世話焼きの有志たちが自宅開放で次々とご近所ミニデイを立ち上げ、併せてそこでご近所のニーズを発掘し、地区のネットワークを生かして解決していく。</p>
12:10~13:10	<p>昼食休憩</p>
13:10~15:00	<p>シンポジウム 「改めて“ご近所福祉”から小地域福祉を作り直すために」 —「校区地域福祉活動の実態調査及び普及啓発事業」に携わって—</p> <p>地域を重層的に捉える場合、ご近所、町内、学区の各圏域間をどのようにしてつなげていくのか。ご近所からニーズは発するとして、そこで解決できない課題をどのように上位の圏域につなげていくか、上位の圏域はどのように下位の圏域をバックアップするか。そのとき地区段階の担うべき役割は何なのか—小地域福祉を効果的に進めるための最重要テーマに迫る。</p> <p><シンポジスト></p> <p>鯉 漣 百合子（千葉県佐倉市社会福祉協議会） 吉 村 了 子（愛知県安城市社会福祉協議会） 鈴 木 恵 子（神奈川県川崎市・「すずの会」） 勝 部 麗 子（大阪府豊中市社会福祉協議会） 洪 谷 篤 男（全国社会福祉協議会）</p> <p><コーディネーター></p> <p>木 原 孝 久（住民流福祉総合研究所）</p>

□定員：400人（定員になり次第、締め切らせていただきます）

□参加費：3,000円（当日資料代込み）

□昼食：2月1日（日）の昼食弁当ご希望の方はあらかじめお申込みください。
1,000円（お茶付き）

□会場：アイプラザ岡崎 講堂（〒444-0823 愛知県岡崎市上地 3-12-1）
JR 岡崎駅から…徒歩にて約 30 分
JR 岡崎駅から…バスにて約 10 分

□参加申込方法

- ①セミナー参加ご希望の方は下記の参加申込書に必要事項を記入のうえ、郵送またはFAXのいずれかでお申込みください。
- ②折り返し、参加費の振込方法、会場案内図などを記載した「受付確認票」を、郵送またはFAXにてお送りいたしますので、参加費をお振り込みください。
- ③参加費の振り込みを確認し次第、受講票をお送りいたします。当日はその受講票をお持ちになり、会場までお越しください。

□お問合せ先

「全国“支え合いマップ” & “ご近所福祉” 研究集会」

集会事務局／全国コミュニティライフサポートセンター（CLC 大阪）

〒530-0012 大阪市北区芝田 2-3-16 いづたビル 205

TEL：06-6377-5900 FAX：06-6377-5901

特別講座「マップづくりセミナーの開き方」&相談コーナー

マップづくりをもっともっと多くの人に知ってもらうために！
マップづくりセミナーのノウハウを大公開!!

■定員：50人

■参加費：1,000円

■会場：アイプラザ岡崎 研修室

■備考：特別講座のみの受講はできません。必ず「全国“支え合いマップ” & “ご近所福祉” 研究集会」と一緒にお申し込みください。

申込先 FAX:022-719-9251

全国“支え合いマップ”&“ご近所福祉”研究集会 参加申込書

フリガナ 申込代表者氏名	勤務先・施設名	
住所	〒 (勤務先・自宅)		
電話番号	()	FAX 番号	()

No	フリガナ 参加者氏名	職名	性別	参加		昼食弁当
				一般 3,000円	特別講座 1,000円	2月1日 1,000円
例	オカザキ タロウ 岡崎 太郎	課長	男	○		○
1					
2					
3					
4					
5					

今後、セミナー・書籍をご案内します。ご希望の方は、メールアドレスをご記入ください。
@

※受付返信日

○参加者記入欄が不足の場合には、コピーのうえご使用ください。

○変更・取り消しの場合には、送信した申込書に加筆・修正をしてFAXしてください。

■参加申込み方法

- ①セミナー参加ご希望の方は下記の参加申込書に必要事項を記入のうえ、郵送またはFAXのいずれかでお申込みください。
- ②折り返し、参加費の振込方法、会場案内図などを記載した「受付確認票」を、郵送またはFAXにてお送りいたしますので、参加費をお振り込みください。
- ③参加費の振り込みを確認し次第、受講票をお送りいたします。当日はその受講票をお持ちになり、会場までお越しください。

■参加申込みについてのお問合せ先

全国コミュニティライフサポートセンター(CLC 東日本) 〒981-0954 宮城県仙台市青葉区川平5-3-18-207
TEL: 022-719-9240 FAX: 022-719-9251

■内容についてのお問合せ先

全国コミュニティライフサポートセンター(CLC大阪) 〒530-0012 大阪府大阪市北区芝田2丁目3-16-205
TEL: 06-6377-5900 FAX: 06-6377-5901